

(様式4)

都道府県名	山口県	番号	35
ふりがな 学校名	山口県岩国市立玖珂小学校		

1 研究の概要

(1) 研究主題

豊かな心と表現力を身に付けた児童の育成
～基礎・基本の定着を重点において～

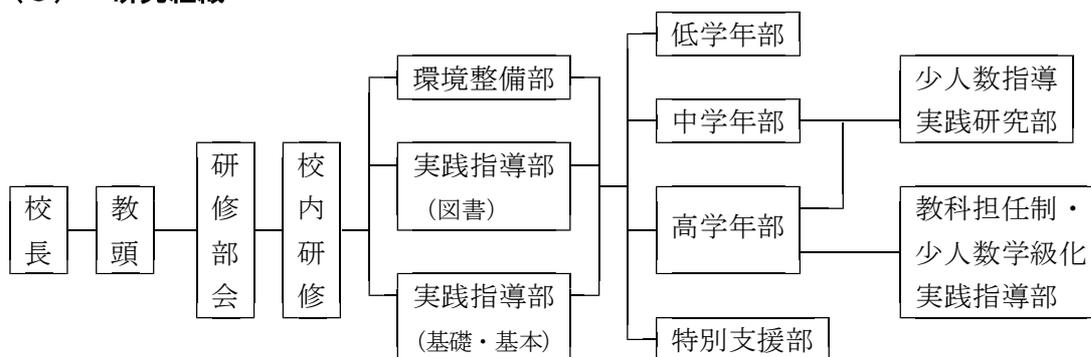
(2) 研究のねらい

本校では『自分のよさを発揮し、表現力と実践力を身に付けた児童の育成』を教育目標とし、その期待する児童像に「たくましい子（元気に）」「心豊かな子（明るく）」「自ら考える子（夢をもつ）」を掲げている。

この具現化にあたって、基礎・基本の定着を図り、そこから豊かな心と表現力を身に付けた児童の育成を目指していく。一昨年度まで研究を進めてきた図書館教育に力を入れるとともに、基礎的・基本的事項の定着を図ることで、表現力や実践力を育てていきたいと考える。

また、自分の考えや思いを伝え合うことができるようにするためには表現技能を高めるとともに、心を開いて表現しようとする集団づくりも大切であると考え。そこで、全教育活動の中で、支持的風土のある学級づくりにも力を注いでいく。

(3) 研究組織



(4) 研究内容

① 発達段階に応じた基礎・基本の定着を図るための指導の工夫

- ・ 『どんどんタイム』の充実
- ・ 語彙力を広げ、深める指導の工夫（辞書の活用、音読、視写など）
- ・ 正しい言語の習得を図るための指導の工夫（各学年毎の漢字プリントの作成など）

② 児童の読書意欲を喚起するための指導の工夫と環境の整備

- ・ 保護者の読み聞かせボランティア「くがっち」との連携
- ・ 『さわやか読書』の時間の充実
- ・ 読書の幅を広げ、深める指導の工夫（選書会、必読書の設定、認定表彰など）
- ・ 集団で楽しむ読書活動の実施（読み聞かせ、集会の推進）

③ 児童の表現活動を支援する工夫

- ・ 一人ひとりのよさを認める集団づくり

- ・ 表現し合う場の設定と実践
- ・ 表現技能を高めるための指導の工夫
- ・ 一人ひとりを生かす支援、評価の工夫

2 成果

- 発達段階に応じて、漢字の習得や語彙力などの基礎・基本が少しずつ定着してきた。
- 児童の読書に取り組もうとする意識がかなり高まってきた。
- 自分の思いや考えなどを工夫して、相手に伝えようとする努力が見られるようになった。

3 成果についての検証

- 基礎・基本の定着について

どの学年も個人差はあるが、当該学年の漢字などは8割以上が読み書きできるようになった。そして、視写を取り入れたことにより、丁寧に字を書こうとする意識が見られ、原稿用紙の書き方なども併せて覚えることができた。また、音読を好む児童が増えて、登場人物の気持ちを考えながら読める児童も出てきている。

- 読書について

必読書の達成者状況は別紙資料①の通りである。前年度に比べて全体の達成率が下がっているが、今年度は目標数をどの学年も大幅に増やしたためであり、一人ひとりの読書量として考えれば、前年度と比べて確実に増加しているといえる。特に、高学年の目標数30冊に対してのこの達成率を考えれば、読書量が大きく増加したといえる。

この結果から、以前と比べて児童の読書意欲が高まり、読書量が増してきている。自分の興味のある分野の本だけでなく、様々な分野の本を読み進めて読書の幅を広げるという点でも、少しずつではあるが成果は上がっている。

- 表現活動について

各学年、学級でディベートやパネルディスカッションを取り入れるなど、表現力の育成を目指した授業実践ができた。また、学校全体でも、委員会が中心となつての『玖珂小パフォーマンス』や『生き生きまつり』など、児童が表現する場を意図的に設けることによって、児童が自分の思いや考えを率先して表現できるようになってきた。

4 課題とその改善

- 文章を読み取る力や何が書いてあるかをまとめる力、読んだ文章に対して分かりやすく感想やあらすじをまとめる力がまだ不十分である。読み取りについては、一つひとつの言葉にまでこだわった指導を行い、力を伸ばしていきたい。
- 本はよく読むが、内容をあまり理解していないように思う。句読点・1マス下げなどに気をつけながら、その通りに視写や音読ができない児童が多い。また、作文の力、対話を続ける力、短い文章で自分の思いを書く力がまだ不十分である。そこで、読書の後にはあらすじなど簡単に感想をまとめさせたり、短文作りや短作文の時間を授業の中にできるだけ多く取り入れたりと書く力を付けていきたい。

<資料>

①必読書達成状況

<平成20年度>

学 年	1	2	3	4	5	6	計
目 標 数	20	20	20	20	30	30	
児 童 数 (人)	81	83	76	85	77	103	505
目標達成者数(人)	55	34	17	25	4	102	237
達 成 率 (%)	67.9	41.0	22.4	29.4	5.2	99.0	46.9

(2学期終了時点)

<平成19年度>

学 年	1	2	3	4	5	6	計
目 標 数	15	15	15	15	8	8	
児 童 数 (人)	79	74	87	77	102	78	497
目標達成者数(人)	50	57	48	7	20	76	258
達 成 率 (%)	63.3	77.0	55.2	9.1	19.6	97.4	51.9

(2学期終了時点)